平成 29年度 事業報告

I 健診事業

高齢化の急速な進展に伴い疾病構造も変化し、疾病全体に占めるがんなど悪性疾患や生活習慣病である高血圧症、糖尿病、脂質異常症等の疾病が増加し、これらの疾病が医療費に占める割合は約3分1となっている。

国のがん対策推進基本計画(平成24年度から28年度)では、がん検診の受診率を5年以内に50%達成を目標に掲げ、また特定健診等実施計画(平成25年度から29年度)では、特定健診受診率70%、特定保健指導実施率45%、メタボ減少率25%達成を目標としており、県や市町村等一丸となって達成に向けて取組んでいるなか、事業団は公益財団法人として、各自治体、医師会等と連携する中で受診率向上に向け、県民の利便性に考慮した日程や体制により各種健診・検査を実施するとともに、県民から一層信頼を得る機関として、より精度の高い健診・検査事業の推進に努めた。

1 住民健康診査

(1)特定健康診査

高齢者の医療確保に関する法律に基づく特定健診等を各医療保険者(市町村国保、被用者保険)及び広域連合を実施主体とする県下 11 市町村より委託を受け、平成 29 年度は、40 歳から 74 歳を対象とした特定健診 9,797 人、75 歳以上の後期高齢者の健診 3,173 人、39 歳以下の若年者の健診 840人合せて 13,810人の一般住民の健診を実施し、前年度と比較して 94人減少した。メタボリックシンドローム判定結果の内訳は、基準該当 1,378人(9.98%)、予備群該当 1,061人(7.68%)、非該当10,439人(75.59%)、判定不能 932人(6.75%)であった。

【特定健康診査等 ①メタボリック判定】

				メタボリ	ック判定	
	市町村数	受診者数	基準該当	予備群該当	非該当	判定不能 (項目不足)
平成 25 年度	12	13, 928	1, 319 9. 47%	1, 174 8. 43%	10, 553 75. 77%	882 6. 33%
平成 26 年度	12	14, 935	1, 388 9. 29%	1, 346 9. 01%	11, 300 75. 66%	901 6.03%
平成 27 年度	12	14, 416	1, 393 9. 66%	1, 070 7. 42%	11, 022 76. 46%	931 6. 46%
平成 28 年度	11	13, 904	1, 334 9. 59%	1, 072 7. 71%	10, 559 75. 94%	939 6. 75%
平成 29 年度	11	13, 810	1, 378 9. 98%	1, 061 7. 68%	10, 439 75. 59%	932 6. 75%
比較増減	0	▲ 94	44 —	▲ 11 —	▲ 120 —	▲ 7 —

【特定健康診査等 ②階層化判定】

	m 1-1 w/-			階層化(保健指導レベル)判定							
	市町村数	受診者数	積極的	積極的支援		け支援	情報提供			不能 不足)	
平成 25 年度	12	10, 198	233	2. 28%	736	7. 22%	9, 221	90. 42%	8	0. 08%	
平成 26 年度	12	10, 892	224	2. 06%	805	7. 39%	9, 863	90. 55%	0	_	
平成 27 年度	12	10, 447	213	2. 04%	673	6. 44%	9, 561	91. 52%	0	_	
平成 28 年度	11	10, 806	324	3. 00%	766	7. 09%	9, 716	89. 91%	0	_	
平成 29 年度	11	10, 631	292	2. 75%	673	6. 33%	9, 665	90. 91%	1	0. 01%	
比較増減	0	▲ 175	▲32	_	▲ 93		▲ 51		1	_	

(2)特定保健指導

平成 29 年度、特定健診を実施した 11 市町村のうち 5 市町から特定保健指導を受託し、積極的支援 36 人、動機づけ支援 59 人の指導を実施した。

(平成29年度の特定保健指導は平成30年7月下旬まで継続中)

【特定保健指導実施状況】

		積	責極的支持	爰		動機づけ支援				
	H25	H26	H27	H28	H29	H25	H26	H27	H28	H29
上野原市	9	18	5	3	5	8	46	32	41	43
都 留 市	36	27	24	26	16	_	_	_	_	_
富士川町	13	11	10	10	7	_	_	_	_	1
富士河口湖町	9	1	6	8	3	17	15	10	8	16
南 部 町	5	8	2	8	5		1		_	
合 計	72	65	47	55	36	25	61	44	49	59

[※] 人数は、初回面接終了者数を計上

【特定保健指導結果】

平成 28 年度の実績で、最終評価終了者 90 人中メタボ脱出者は、12 人(13.33%)であった。

平成 28 年度(市町村合計)

	積極的支援			動	動機づけ支援			合 計		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	
初回面接終了者	44	11	55	31	18	49	75	29	104	
途中終了者	7	2	9	3	2	5	10	4	14	
最終評価終了者	37	9	46	28	16	44	65	25	90	
メタボ脱出者	5	1	6	2	4	6	7	5	12	
内服開始者	3	0	3	4	0	4	7	0	7	

※ メタボ脱出者:最終評価時、腹囲・BMI ともメタボリックシンドローム判定基準以下を達成した者 ※ 内服開始者:最終評価終了者中、支援期間内に高血圧・糖尿病・脂質異常症の内服を開始した者

2 各種がん検診等

平成29年度は、甲府市医師会との連携で実施していた甲府市集団検診からの撤退と富士吉田市での受診者減少により、胃がん検診及び腹部超音波検診の受診者数が大幅に減少した。

(1) 胃がん検診

平成 29 年度は、県下 16 市町村の住民 7,479 人、県職員、県教職員及び事業所職員等 3,264 人合せて 10,743 人の検診を実施し、前年度と比較して 2,629 人と大幅に減少した。

受診者のうち精密検査を要する者は 854 人、要精検率 7.95%で、追跡調査の結果、精密検査を受診した者は 650 人、精検受診率 76.11%で、精密検査結果は、がん発見数 5 人(発見率 0.046%)であった。

【胃がん検診実施状況】

(平成30年3月末 現在)

		市町村数	受診者数	要精検者数	要精検率	精検 受診者数	精検受診率	がん 発見数	がん 発見率
平月	成 25 年度	17	14, 221	1, 428	10. 04%	1, 099	76. 96%	7	0. 049%
平月	成 26 年度	17	14, 531	1, 406	9. 68%	1, 053	74. 89%	11	0. 076%
平月	成 27 年度	17	13, 916	1, 221	8. 77%	891	72. 97%	9	0. 065%
平月	成 28 年度	16	13, 372	1, 012	7. 57%	744	73. 52%	11	0. 082%
平月	成 29 年度	16	10, 743	854	7. 95%	650	76. 11%	5	0. 047%
内	市町村	16	7, 479	654	8. 74%	520	79. 51%	4	0. 053%
訳	職域等	_	3, 264	200	6. 13%	130	65. 00%	1	0. 031%
Ŀ	比較増減	0	▲ 2, 629	▲158	_	▲ 94	_	▲ 6	_

【精検結果内訳(がんを除く)】

	ポリープ	胃潰瘍	十二指腸潰瘍	その他疾患	異常認めず
平成 25 年度	248	76	15	566	187
平成 26 年度	202	95	9	601	135
平成 27 年度	179	74	4	516	109
平成 28 年度	160	47	5	410	106
平成 29 年度	127	46	3	383	83

(2)肺がん検診

平成 29 年度は、県下 11 市町村の住民 14,687 人、県職員、県教職員及び市町村教職員等 3,611 人、合せて 18,298 人の検診を実施し、前年度と比較して 221 人減少した。

受診者のうち精密検査を要する者は 357 人、要精検率 1.95%であった。追跡調査の結果、精密検査を受診した者は 280 人、精検受診率 78.43%で、精密検査結果は、がん発見数 12 人(発見率 0.066%)であった。

また、喫煙者(喫煙指数 600 以上)等を対象とした喀痰細胞診は、住民、職域合わせて 305 人が受診し、がん発見数 1 人(発見率 0.328%)であった。

【胸部検診実施状況】

(平成30年3月末現在)

E 75 7 E			(1770 00 1 0	/ / 1 / 1 / 20 1 上 /					
		市町村数	受診者数	要精検者数	要精検率	精検 受診者数	精検受診率	がん 発見数	がん 発見率
平原	戊 25 年度	13	23, 203	609	2. 62%	494	81. 11%	10	0. 043%
平原	戊 26 年度	13	23, 689	591	2. 49%	447	75. 63%	10	0. 042%
平原	戊 27 年度	12	19, 398	499	2. 57%	392	78. 56%	8	0. 041%
平原	戊 28 年度	11	18, 519	365	1. 97%	294	80. 55%	11	0. 059%
平原	戊 29 年度	11	18, 298	357	1. 95%	280	78. 43%	12	0. 066%
内	市町村	11	14, 687	327	2. 23%	261	79. 82%	12	0. 082%
訳	職域等	_	3, 611	30	0. 83%	19	63. 33%	0	_
比	シ 較増減	0	▲221	▲8		▲ 14	_	1	_

【肺がん喀痰細胞診実施状況】

		市町村数	受診者数 (検体数)	判定不能 (検体不良)	異常認めず	要精検者数	精検 受診者数	がん 発見数	がん 発見率
平瓦	戈 25 年度	11	311	6	304	1	1	0	-
平瓦	t 26 年度	11	320	9	310	1	1	1	0. 313%
平月	戊 27 年度	11	324	9	315	0	_	_	_
平月	戊 28 年度	8	299	4	295	0	_	_	_
平月	t 29 年度	9	305	10	294	1	1	1	0. 328%
内	市町村	9	237	7	229	1	1	1	0. 422%
訳	職域等	_	68	3	65	0	_	_	_
比	:較増減	1	6	6	▲1	1	1	1	_

(3) 大腸がん検診

平成 29 年度、県下 11 市町村の住民 11,788 人、県職員、県教職員及び事業所職員等 5,490 人合わせて 17,278 人の検診を実施し、前年度と比較して 360 人増加した。

受診者のうち精密検査を要する者は 861 人で要精検率 4.98%であった。追跡調査の結果、精密検査を受診した者は 504 人、精検受診率は 58.54%で、精密検査結果の内訳では、がん発見数 16 人(発見率 0.093%)であった。

【大腸がん検診実施状況】

(平成30年3月末現在)

		市町村数	受診者数	要精検 者数	要精検率	精検 受診者数	精検 受診率	がん 発見数	がん 発見率
平原	戊 25 年度	12	15, 504	844	5. 44%	544	64. 45%	29	0. 187%
平原	戊 26 年度	12	17, 823	973	5. 46%	505	51. 90%	11	0. 062%
平原	戊 27 年度	12	17, 761	929	5. 23%	552	59. 42%	14	0. 079%
平原	戊 28 年度	11	16, 918	803	4. 75%	450	56. 04%	20	0. 118%
平原	戊 29 年度	11	17, 278	861	4. 98%	504	58. 54%	16	0. 093%
内	市町村	11	11, 788	631	5. 35%	420	66. 56%	13	0. 110%
訳	職域等	_	5, 490	230	4. 19%	84	36. 52%	3	0. 055%
比	之 較増減	0	360	58		54	_	▲ 4	_

【精検結果内訳(がんを除く)】

	大腸ポリープ	大腸憩室	痔核·裂肛	その他	異常認めず				
平成 25 年度	225	61	35	30	164				
平成 26 年度	239	52	36	36	131				
平成 27 年度	223	67	46	44	160				
平成 28 年度	209	32	36	23	122				
平成 29 年度	224	58	33	23	139				

(4)乳がん検診

平成29年度は、県下14市町村の住民10,492人、県教職員及び事業所職員等1,171人、合せて11,663人の検診を実施し、前年度と比較して415人減少した。受診者のうち無料クーポン対象者は591人であった。

受診者のうち、精密検査を要する者 371 人で要精検率 3.18%であった。追跡調査の結果、精密検査 受診者は 309 人、精検受診率は 83.29%で、精密検査結果は、がん発見数 15 人(発見率 0.129%)であった。

検診内訳は、マンモグラフィのみ 8,453 人、視触診・マンモグラフィ併用 476 人、乳腺超音波検査 のみ 2,474 人、視触診・超音波検査併用 204 人、マンモグラフィ・超音波検査併用 52 人、視触診のみ 4 人であった。

【乳がん検診実施状況】

(平成30年3月末 現在)

T TU	71.5 70 天他 大儿 (干成 50 平 6 万木 坑社)										
		市町村数	受診者数	要精検者数	要精検率	精検 受診者数	精検受診率	がん 発見数	がん 発見率		
平月	成 25 年度	13	9, 390	358	3. 81%	296	82. 68%	16	0. 170%		
平月	成 26 年度	15	11, 266	399	3. 54%	305	76. 44%	8	0. 071%		
平月	成 27 年度	15	11, 421	402	3. 52%	333	82. 84%	19	0. 166%		
平月	成 28 年度	14	12, 078	399	3. 30%	337	84. 46%	23	0. 190%		
平月	成 29 年度	14	11, 663	371	3. 18%	309	83. 29%	15	0. 129%		
内	市町村	14	10, 492	334	3. 18%	285	85. 33%	15	0. 143%		
訳	職域等	_	1, 171	37	3. 16%	24	64. 86%	0	_		
E	比較増減	0	▲ 415	▲28	_	▲28	_	▲ 8	_		

【精検結果内訳(がんを除く)】

(平成30年3月末 現在)

	乳腺症	線維腺腫	乳腺のう胞	その他	異常認めず
平成 25 年度	48	36	34	50	112
平成 26 年度	43	27	50	46	131
平成 27 年度	48	39	49	48	130
平成 28 年度	42	32	45	65	150
平成 29 年度	47	44	41	25	132

【実施方法別】

	受診者数	要精検者数	要精検率	精検 受診者数	精検 受診率	がん 発見数	がん 発見率
マンモグラフィ	8, 453	305	3. 61%	264	86. 56%	12	0. 142%
視触診・マンモグラフィ	476	17	3. 57%	12	70. 59%	1	0. 210%
乳腺超音波	2, 474	44	1. 78%	31	70. 45%	2	0. 081%
視 触 診 · 超 音 波	204	3	1. 47%	2	66. 67%	0	_
マンモ・超音波	52	2	3. 85%	0	_	-	_
視 触 診	4	0	_	_	_	_	

(5)子宮頸がん検診

子宮頸がん検診を事業団施設にて、協会けんぽ対象事業所健診及びレディース健診として実施した。 平成29年度は、受診者141人で、前年度と比較して4人増加した。精密検査を要する者はいなかった。

【子宮頸がん検診実施状況】

(平成30年3月末 現在)

	受診者数	要精検者数	要精検率	精検受診者数
平成 25 年度	162	0	_	_
平成 26 年度	186	0	_	_
平成 27 年度	174	0		
平成 28 年度	137	0	_	_
平成 29 年度	141	0	_	_
比較増減	4	0	_	_

(6)腹部超音波検診

上腹部臓器の肝臓、胆のう、膵臓、腎臓、脾臓を検査し、平成 29 年度は、16 市町村の住民 18,603 人、事業所職員等 892 人合せて 19,495 人の検診を実施し、前年度と比較して 2,957 人減少した。

受診者のうち精密検査を要する者は 591 人で、要精検率 3.03%であった。追跡調査の結果、精密検査を受診した者は 425 人、精検受診率は 71.91%で、精密検査の結果発見されたがんは、肝臓 9 人、胆のう 1 人の合計 10 人(発見率 0.051%)であった。

【腹部超音波検診実施状況】

(平成30年3月末現在)

		市町村数	受診者数	要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率
平月	式 25 年度	17	20, 253	746	3. 68%	533	71. 45%
平月	成 26 年度	17	22, 317	926	4. 15%	634	68. 47%
平月	或 27 年度	17	22, 172	675	3. 04%	432	64. 00%
平月	式 28 年度	16	22, 452	754	3. 36%	504	66. 84%
平月	成 29 年度	16	19, 495	591	3. 03%	425	71. 91%
内	市町村	16	18, 603	562	3. 02%	414	73. 67%
訳	職域等	_	892	29	3. 25%	11	37. 93%
F	比較増減	0	▲ 2, 957	▲163	_	▲ 79	

【臓器別がん発見数】

	肝臓	胆のう	腎臓	膵臓	その他	計	がん発見率
平成 25 年度	6	1	2	1	2	12	0. 059%
平成 26 年度	3	0	2	0	0	5	0. 022%
平成 27 年度	4	0	0	0	1	5	0. 023%
平成 28 年度	7	1	1	3	2	14	0. 062%
平成 29 年度	9	1	0	0	0	10	0. 051%

【臓器別疾患数】 (平成30年3月末現在)

	肝臓	胆のう	腎臓	膵臓	脾臓	その他	異常なし
平成 25 年度	109	105	56	102	2	87	60
平成 26 年度	158	124	56	103	1	45	85
平成 27 年度	110	87	30	81	0	31	64
平成 28 年度	145	92	27	94	2	45	48
平成 29 年度	111	54	33	95	1	20	59

(7)前立腺がん検診(血液 PSA 検査)

平成29年度は、県下9市町村の住民3,360人、事業所職員等443人、合わせて3,803人実施し、前年度と比較して30人増加した。受診者のうち精密検査を要する者は290人で要精検率7.63%であった。

追跡調査の結果、精密検査を受診した者は 192 人、精検受診率は 66.21%で、精密検査結果の内訳は、 がん発見数 16 人(発見率 0.421%)でがん疑いの者 71 人であった。

【前立腺がん検診実施状況】

(平成30年3月末現在)

		市町村数	受診者数	要精検 者数	要精検率	精検 受診者数	精検 受診率	がん 発見数	がん 発見率	前立腺 がん疑
平月	艾 25 年度	10	3, 664	231	6. 30%	162	70. 13%	26	0. 710%	42
平月	t 26 年度	10	4, 015	229	5. 70%	128	55. 90%	9	0. 224%	49
平原	戈 27 年度	10	3, 864	216	5. 59%	120	55. 56%	16	0. 414%	44
平瓦	t 28 年度	9	3, 773	256	6. 79%	159	62. 11%	13	0. 345%	66
平月	艾 29 年度	9	3, 803	290	7. 63%	192	66. 21%	16	0. 421%	71
内	市町村	9	3, 360	282	8. 39%	191	67. 73%	16	0. 476%	71
訳	職域等		443	8	1. 81%	1	12. 50%	0	_	0
比	:較増減	0	30	34	_	33	_	3	_	5

【精検結果内訳・がん以外】 (平成30年3月末現在)

	前立腺肥大	その他	異常認めず
平成 25 年 度	39	12	43
平成 26 年 度	35	12	23
平成 27 年 度	27	12	21
平成 28 年 度	31	7	27
平成 29 年 度	59	7	32

(8) フィブロスキャン検診

平成 29 年度は、早川町、富士川町、道志村、富士河口湖町の 4 町村で実施し、住民 119 人の検診を 実施し、前年度と比較して 99 人減少した。

受診者のうち肝硬度値判定による要精検者は7人、肝脂肪量判定の要精検者は18人であった。

【フィブロスキャン検診実施状況】

	市町 受診		肝硬度	E値判定		肝脂肪量(CAP)判定				
	者数	異常 認めず	要観察	要精検	判定 不能	異常 認めず	要観察	要精検	判定 不能	
平成 25 年度	2	198	127	48	20	3	52	96	39	11
平成 26 年度	4	313	232	67	14	0	93	154	65	1
平成 27 年度	4	242	177	54	11	0	60	126	53	3
平成 28 年度	4	218	160	45	12	1	55	119	43	1
平成 29 年度	4	119	77	34	7	1	28	71	18	2
比較増減	0	▲99	▲83	▲ 11	▲ 5	0	▲27	▲48	▲25	1

(9) 結核検診

平成 29 年度は、市町村住民、事業所職員及び高校・大学生等、合せて 40,810 人の検診を実施し、 前年度と比較して 480 人増加した。

受診者のうち精密検査を要する人は 1,619 人、要精検率 3.97%であった。追跡調査の結果、結核患者の発見は2人であった。

【結核検診実施状況】

11 × 1 × 1 × 1 × 1 × 1 × 1 × 1 × 1 × 1								, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
	受診者数	要精検 者数	要精検率	精検 受診者数	精検 受診率	結核 患者数	その他 疾患	異常 認めず
平成 25 年度	45, 117	770	1. 71%	540	70. 13%	0	314	226
平成 26 年度	45, 473	1, 511	3. 32%	1, 058	70. 02%	0	690	368
平成 27 年度	41, 480	1, 060	2. 56%	682	64. 34%	0	582	100
平成 28 年度	40, 330	1, 289	3. 20%	694	53. 84%	0	618	76
平成 29 年度	40, 810	1, 619	3. 97%	803	49. 60%	2	670	131
比較増減	480	330	-	109	_	2	52	55

[※] H26 年度からの要精検者数増加は、胸部 X 線検査のデジタル化による画像診断で、呼吸器疾患以外の疾患(心肥大等) についての異常が判定可能となったため

3 職域健診

労働安全衛生法及び学校保健安全法に基づき市町村職員・教職員、県職員・教職員、大学(健康科学大学、県立大学、甲府看護専門学校等)、民間企業等を合わせて17,688人の健診を実施し、新規7事業所の獲得や小規模事業所を集約した健診での新規取込などにより、前年度と比較して907人増加した。

【職域健診実施状況】

	市町村教職員	市町村職員	県教職員	県職員	大学・ 専門学校	民間企業等	合 計
平成 25 年度	1, 572	437	1, 639	2, 745	2, 818	5, 935	15, 146
平成 26 年度	1, 575	443	2, 044	2, 533	2, 836	6, 824	16, 255
平成 27 年度	1, 582	437	2, 093	2, 526	2, 825	7, 077	16, 540
平成 28 年度	1, 580	497	2, 051	2, 483	2, 833	7, 337	16, 781
平成 29 年度	1, 614	517	1, 992	2, 447	2, 922	8, 196	17, 688
比較増減	34	20	▲ 59	▲36	89	859	907

4 学校保健安全法に基づく検診検査

(1)心臟検診

平成 29 年度は、県立学校、市町村小・中学校等の児童、生徒の心電図検査 10,556 人、心音図検査 357 人を実施した。前年度と比較して、心電図検査は 150 人減少、心音図検査では 13 人増加した。

心電図検査の要精検者数は833人、要精検率7.89%で、心音図検査の要精検者数は20人、要精検率5.60%であった。

【心電図·心音図検査実施状況】

	ıĽ	》電 図 検 3	<u> </u>	心 音 図 検 査			
	受診者数	要精検者数	要精検率	受診者数	要精検者数	要精検率	
平成 25 年度	11, 815	616	5. 21%	405	13	3. 21%	
平成 26 年度	11, 294	515	4. 56%	416	22	5. 29%	
平成 27 年度	11, 074	578	5. 22%	377	21	5. 57%	
平成 28 年度	10, 706	633	5. 91%	344	8	2. 33%	
平成 29 年度	10, 556	833	7. 89%	357	20	5. 60%	
比較増減	▲ 150	200	_	13	12	_	

(2) 寄生虫卵検査

平成 29 年度は、県立学校、市町村小学校の児童、保育園等の幼児、職員合わせて 5,951 人の検査を 実施した。平成 28 年度の法改正により寄生虫卵検査が必須項目から除外された影響が継続し、前年度 と比較して 6,777 人減少した。

寄生虫卵検査の保卵者数は1人、保卵率は0.017%であった。

【寄生虫卵検査実施状況】

	57 1A +7 W	ID so tv	寄生虫卵内訳		
	受検者数	保卵者	蟯虫	その他	保卵率
平成 25 年度	44, 752	3	3	0	0. 007%
平成 26 年度	41, 519	7	7	0	0. 017%
平成 27 年度	40, 418	2	2	0	0. 005%
平成 28 年度	12, 728	4	4	0	0. 031%
平成 29 年度	5, 951	1	1	0	0. 017%
比較増減	▲ 6, 777	▲3	▲3	0	_

(3) 尿検査

平成 29 年度は、県立学校、市町村小・中学校等の児童、生徒及び保育園の幼児等 43,540 人の検査を実施した。少子化等の影響により、前年度と比較して 326 人減少した。

1 次検査の陽性者 989 人(陽性率 2.27%)のうち、2 次検査を 836 人検査し、陽性者は 200 人(陽性率 23.92%)であった。

【尿検査実施状況】

		第1次検査		第2次検査			
	受診者数	陽性者数	陽性率	受診者数	陽性者数	陽性率	
平成 25 年度	45, 990	1, 107	2. 41%	968	223	23. 04%	
平成 26 年度	45, 622	1, 116	2. 45%	1, 005	228	22. 69%	
平成 27 年度	45, 067	1, 073	2. 38%	959	236	24. 61%	
平成 28 年度	43, 866	1, 048	2. 39%	915	238	26. 01%	
平成 29 年度	43, 540	989	2. 27%	836	200	23. 92%	
比較増減	▲326	▲ 59	_	▲ 79	▲38	_	

	ģ	第1次検査	陽性者内部	5	第2次検査 陽性者内訳			
	糖	蛋白	潜血	蛋白·潜血	糖	蛋白	潜血	蛋白·潜血
平成 25 年度	45	267	769	26	12	47	153	11
平成 26 年度	35	330	715	36	11	74	127	16
平成 27 年度	25	270	745	33	11	60	148	17
平成 28 年度	45	269	687	49	18	52	157	15
平成 29 年度	28	219	717	28	5	32	151	13

(4)血液貧血検査

平成 29 年度は市町村教委の児童、生徒等 366 人の検査を実施し、前年度に比較して 94 人減少した。 軽度異常者は 25 人(軽度異常率 6.83%)、要精検者は 5 人(要精検率 1.37%) であった。

【貧血検査実施状況】

	受診者数	軽度異常者数	軽度異常率	要精検者数	要精検率
平成 25 年度	1, 452	44	3. 03%	3	0. 21%
平成 26 年度	1, 440	60	4. 17%	3	0. 21%
平成 27 年度	461	19	4. 12%	0	_
平成 28 年度	460	20	4. 35%	4	0. 87%
平成 29 年度	366	25	6. 83%	5	1. 37%
比較増減	▲94	5	<u> </u>	1	_

Ⅱがん対策

山梨県において昭和58年からがんは死亡原因の第1位であり、全死亡者の3分の1を 占めており、現在、日本人の2人に1人ががんに罹り、3人に1人ががんで死亡すると言 われている。県は、平成24年4月から「山梨県がん対策推進条例」を施行し、「がん」 の総合的な対策を推進している。

健康管理事業団では、県の委託を受け「がん患者サポートセンター」の運営などさまざまながん対策を行っている。

また、事業団は日本対がん協会山梨県支部を兼ねており、9月のがん征圧月間中に普及 啓発などを集中的に展開した。

さらに、県や関係機関主催の行事に幅広く参加し、がん検診受診率向上に向けた啓発活動を積極的に行った。

1 がん相談

「がん患者サポートセンター」は医師の面接(要予約・不定期)や毎週火曜日に保健師、ピアサポーターの面接及び電話による三位一体でがん患者の相談にあたり、がん患者やその家族の不安や悩みの解消に努めた。

医師相談 3件

保健師相談 51件

ピアサポーター相談 54件

2 リレー・フォー・ライフ・ジャパン2017甲府

9月1日(金)午後3時~9月2日(土)午後0時に山梨県立大学池田キャンパスにおいて、24時間夜通しで行うリレーウォーク等によるチャリティーイベントを県立大学と共催で開催し、第2回目を迎えた。

開催経費を除いた募金、参加費、広告料等は全額(公財)日本対がん協会に寄付され、 寄付金は「がん患者や家族の支援」とがん新薬開発等の研究助成、若手医師の育成、がん 検診率向上のための啓発活動等「がん征圧」のために使われる。

主 催 リレー・フォー・ライフ・ジャパン2017甲府実行委員会

公益財団法人日本対がん協会

参加者 5 2 0 名

募金額 1,212,625円

3 受診率向上のための普及啓発活動

がん征圧月間街頭キャンペーン

9月13日(水) 甲府駅南口周辺 参加者スタッフ 23名

いきいき山梨ねんりんピック

9月30日(土) 小瀬スポーツ公園 参加者スタッフ 3名

• 「検査と健康展」乳がん予防啓発キャンペーン

11月12日(日) ラザウォーク 参加者スタッフ 2名

・県民の日記念行事

11月18日(十) 小瀬スポーツ公園 参加者スタッフ 14名

19日(日)

Ⅲ 普及啓発活動

1 がん征圧月間のがん予防知識普及啓発

例年全国的に行われる9月のがん征圧月間行事として、がん予防に関する知識の普及啓発を図るラジオCM放送と新聞広告の掲載をするとともに、9月13日に甲府駅南口周辺において、県と県がん検診受診率向上プロジェクト企業5社、がん患者サポートセンターでがん相談にあたっているがん経験者等の協力のもと、がん検診啓発のチラシ付フィルターコーヒーを配布し、がん征圧月間の周知とがん検診受診に向けた街頭キャンペーンを展開した。

そのほか、県下全市町村、医療機関、関係機関等にがん予防知識啓発用ポスター及び禁煙ポスターを配布した。

2 結核予防街頭キャンペーンの実施

結核予防週間(9月24日~30日)中に、全国一斉に展開される結核予防運動キャンペーンに併せ、本県においても県民の結核への関心を高めるとともに、結核予防に関する知識の普及啓発を図るため、9月26日に、JR甲府駅南口周辺において、県及び婦人団体の協力のもと、結核予防普及啓発用資材及びカットバン付「STOP結核!」のロゴ入りポケットティッシュの配布などによる結核予防街頭キャンペーンを実施した。

3 講演会の開催

「笑いの力」~笑顔でハッピーな毎日を!~

をテーマに 健康科学大学健康科学部 准教授 瀧口綾 先生による講演会を開催した。

「笑い」と「健康」の関係性について理解を深めるとともに、豊かで健やかな日常生活 を送るための「笑い」の効用について考え、健康寿命の延伸を目指す機会とした。

また、山梨県医師会 理事 飯塚秀彦 先生による「かかりつけ医を持ちましょう」の講演も同時に行った。

3月 2日(金) 山梨県立図書館 2F 多目的ホール 出席者 100名

4 各種イベントへの参加

県や関係機関が主催するイベントに積極的に参加し、簡易健康診断、結核・生活習慣病 予防などに関するパネル展示及び各種パンフレットの配布などを次のとおり実施し、県民 の健康づくりに対する意識の高揚に努めるとともに、事業団のPRを行った。

- (1) 平成29年9月30日(土)
 - いきいき山梨ねんりんピック実行委員会主催「いきいき山梨ねんりんピック」 於 小瀬スポーツ公園
 - ・結核・がん予防啓発リーフレット及び冊子、がん検診受診勧奨資材等配布
 - ・複十字シール募金の展開
 - ・健康教育パネルの展示

- (2) 平成29年11月12日(日)
 - 山梨県臨床衛生検査技師会主催「検査と健康展」 於 ラザウォーク
 - ・乳がん視触診モデルを使用した触診法の指導
 - ・乳がん自己触診法リーフレット、乳がん予防冊子、がん患者サポートセンター パンフレット等配布
- (3) 平成29年11月18・19日(土・日)
 - 県主催「第32回県民の日記念行事」 於 小瀬スポーツ公園
 - ・医師、ピアサポーターによる「がん相談・健康相談」の実施
 - 1) 18日: 医師相談 相談者3名(がん相談2名)
 - 2) 19日: ピアサポーター (がん経験者) 相談 相談者4名(全てがん相談)
 - 血圧、活力年齢測定
 - ・乳がん視触診モデル体験
 - ・結核・がん予防啓発資材及び冊子、事業団パンフレット等配布
 - ・複十字シール募金の展開
 - ・健康教育パネルの展示

5 ホームページの活用

ホームページを活用し、事業団組織及び経営理念、事業案内による検診事業全般の内容紹介、財務諸表など広く県民に情報発信し、事業団をPRするとともに、各種がん検診、生活習慣病予防の正しい知識の普及啓発に努めた。

6 健康教育用資料の貸出し

がん・結核予防・生活習慣病予防ビデオ、パネル等を健康教育用資料として、 市町村並びに関係各機関へ配布、貸出しを行い、がん・結核予防・生活習慣病予防に対 する認識と検診の重要性について普及啓発を行った。

7 その他広報資料の配付

事業団広報誌「すこやかだより」を発行するとともに、結核予防会発行の 「複十字」「健康の輪」、日本対がん協会発行の「対がん協会報」等を広報資料として 市町村及び各関係機関等へ配布し、健康に関する知識の普及啓発に努めた。

Ⅳ 研修事業

1 当事業団は(公財) 結核予防会、(公財) 日本対がん協会、(公財) 予防医学事業中央会のそれぞれの山梨県支部である。

各検診事業の充実を図るため、当該3団体が主催する研修会、協議会等に職員を参加させた。

	名称	開催月日	参加人員
結核予防会	第3期特定健診・保健指導の運用見直しについての合同説明会 平成29年度関東甲信越支部ブロック会議(群馬県) JATA災害時支援協力者研修 平成29年度全国支部事務局長会議・大規模災害対策委員会	9月1日 11月10日 12月13日 3月16日	1人 2人 1人 1人
日本対がん協会	平成29年度全国事務局長会議 平成29年度がん征圧全国大会(石川県) 平成29年度関東甲信越支部連絡協議会(神奈川県) 第41回保健師・看護師研修会 リレー・フォー・ライフ・ジェヤパン2017年度サミット&2018年度キックオフミーティング 第23回日本対がん協会マンモグラフィ撮影技術講習会	6月26日 9月7日~8日 11月17日 2月22日~23日 2月25日 3月16日~18日	1人 2人 2人 1人 2人
予防医学事業中央会	平成29年度第1回全国運営会議 平成29年度予防医学事業推進関東甲信越地区会議(茨城県) 平成29年度第2回全国運営会議(千葉県) 第62回予防医学事業推進全国大会(千葉県) 平成29度全国業務研修会(愛知県) 平成29度第52回予防医学技術運営会議(長崎県) 平成29度第52回予防医学技術研究会議(長崎県)	7月11日 10月5日~6日 10月26日 10月27日 2月8日~9日 2月21日 2月22日~23日	1 人 4 人 1 人 2 人 3 人 1 人

2 各種検診の高度化、多様化に対応するため、各関係団体等が主催する各種学会、研修会 等へ職員を参加させた。

開催月日	参加人員
8月20日	2人
8月19日~20日	1人
9月22日	1人
11月11日~12日	1人
11月18日~19日	1人
3月2日	1人
2月9日~10日 3月10日	1人 3人
	8月20日 8月19日~20日 9月22日 11月11日~12日 11月18日~19日 3月2日 2月9日~10日

3 県内の8つの検診機関等で構成する山梨県検診実施機関連絡協議会が平成30年3月8日 に開催され、事業団もこれに参画し精度管理向上に向けた諸課題に取り組んだ。

V 会議の開催

1 理事会・評議員会

- (1) 平成29年4月 1日 第1回「評議員会」(決議省略) 役員の選任について可決承認された。
- (2) 平成29年4月 1日 第1回「理事会」(決議省略) 役員の選定等について可決承認された。
- (3) 平成29年5月 1日 第2回「理事会」 (決議省略) 役員候補者の決定等について可決承認された。
- (4) 平成29年5月17日 第2回「評議員会」(決議省略) 役員の選任について可決承認された。
- (5) 平成29年6月 8日 第3回「理事会」 於 山梨県医師会6F会議室 平成28年度事業報告、収支決算報告、施設整備の対応、平成29年度補正予算(案)、 評議員の辞任及び選任につきその候補者、平成29年度定時評議員会の開催について審議 が行われ、可決承認された。
- (6) 平成29年6月23日 第3回「評議員会」 於 山梨県医師会6F会議室 平成28年度事業報告、収支決算報告、役員の辞任及び選任等について審議が行われ、 可決承認された。
- (7) 平成30年3月20日 第4回「理事会」 於 山梨県医師会館6F会議室 平成30年度主要事業・課題、事業計画(案)、収支予算(案)、準職員就業規程の改正、 パートタイマー就業規則の改正について審議が行われ、可決承認された。

2 経営評価委員会

事業団の自主的な運営体制の確立を目的とし、今後の経営状況や経営強化の実施状況について適切な評価を行うため、外部の経営専門家として医師、税理士等3名を構成メンバーとした、経営評価委員会を平成30年2月6日に開催し、事業団の経営状況、施設整備検討状況等について委員の方々から意見をいただいた。

VI 救急医療情報センター運営業務

当センターは、平成元年4月1日から、全県ネットワークの医療情報システムの開始に伴い、県から同システムの業務委託を受けて、医師会をはじめ、医療機関並びに各市町村などの協力を得ながら、適切な医療情報の提供に努めている。平成30年度の救急案内件数は18,589件で、前年度と比較すると県民が県の医療ネットから直接医療機関を検索する場合が増えたことや、インフルエンザの流行時期に照会件数の大幅な上昇がなかったこともあり、案内件数は745件減少した。現在、24時間体制で、県民からの医療機関及び当番医の照会に対し、適切な情報提供を行う業務を実施している。

1 業務内容

- (1) 情報の収集業務 (医療機関に設置された端末装置による応需情報の収集)
- (2) 情報の提供業務 (患者の症状、発生場所に応じた適切な医療機関の情報提供)
- (3) 各種統計の作成業務

2 年度別案内件数 (件)

年度	H元	H 2	Н3	H 4	Н5	Н6	H 7	Н8	Н9	H10
件数	2, 561	3, 693	4, 446	4, 618	5, 405	5, 905	6, 358	7, 585	7, 133	8, 186
年度	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
件数	9, 465	11, 292	12, 940	12, 267	12, 900	13, 844	14, 905	15, 384	15, 109	16, 145
年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	合 計
件数	21, 254	19, 368	18, 917	19, 333	18, 642	19, 687	19, 656	19, 334	18, 589	364, 921

3 案内状況 (件)

種	別	平成28年度	平成29年度
救急医療情報センター	19, 334	18, 589	
	深夜(0時~8時)	2, 510	2, 370
受付時間別案內件数	日中 (8時~18時)	9, 603	9, 621
	準夜(18時~24時)	7, 221	6, 598
	内 科	6, 946	6, 770
	小 児 科	2, 424	2, 390
	外科	1, 760	1, 510
	整形外科	2, 879	2, 588
	眼科	1, 045	977
	耳鼻咽喉科	995	1, 004
診療科目別案内件数	歯科	1, 201	986
	脳神経外科	676	684
	皮膚科	564	621
	産婦人科	168	145
	泌 尿 器 科	211	178
	精神神経科	65	62
	その他	400	674
	計	19, 334	18, 589